

「元気な土で花を育てよう。」

肢体不自由教育部門 小学部 訪問 1組 2名 (9～11歳)

No232 福岡県築上郡 [カネゴリー] 2植物

[観察場所] 家庭に置いたミニプランターと学校に置いたプランターや畑で観察

「元気な土で花を育てよう。」

肢体不自由教育部門 小学部 訪問 1組 2名 (9～11歳)

No232 福岡県築上郡 [カネゴリー] 2植物

[観察場所] 家庭に置いたミニプランターと学校に置いたプランターや畑で観察

私たちのグループは特別支援学校の訪問学級での参加です。

家庭で学習していますが、1学期にひまわりを育てて観察する授業をしました。

ペット上での学習が中心なので、そこでも育てやすく観察しやすい方法として

ミニひまわりをミニポットで育てました。

種まき、水やりなどを行い、順調に芽を出すミニひまわり。

種まき



水やり



しかし、途中から元気がなくなり、最後は残念ながら枯れてしまいました。理科の先生に相談すると、「土が悪いようだ」とのこと。

元気がなくなってきた茎

一部は土を改良することで元気を取り戻したので、成長の観察を行うことができました。



『植物にとって土はとても大事!』
ということを知りました。



きれいに咲いた
ひまわり

時期を同じくして「みんなのねんど」を知り、粘土でひまわりを作ってミニポットに置き、次の花を育てる作業にしようということになりました。植物が育つためには土が大事という
ことを学ぶと同時に、うまく育てられなかったひまわりを粘土で作り、土において『観察』
土が『元気になる』。その土で『次を育てる』、という計画です。

その学習に意欲と希望をもって取り組みました。 **ターフ【元気な土で花を育てよう】**

咲いた花を見ながら
粘土でひまわりを作成



ちぎったり丸めたり、
伸ばしたりつぶしたり
するのに、とても使い
やすい粘土でした。



失敗から学び、次に挑戦する機会となったことをみんなが喜びました。
粘土を置いてあるミニポットやプランターでは、これから球根が花を咲かせる予定です。



芽が出て
きている

